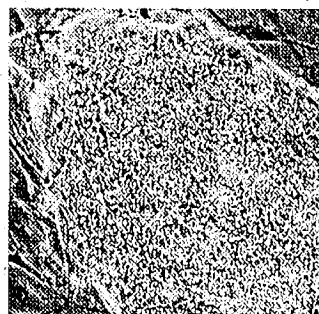


S細胞は長期保管が難しかったが、凍結保存によって研究機関に使いやすい形で大量に供給できるようになる。同社は四月にも大学や研究機関向けにサルの凍結ES細胞の販売を始める。

旭テクノグラ 再生医療 来月にも

カニクイサルのES細胞(下、顕微鏡写真)と、凍結した同細胞を入れた容器



四十五万円前後で初年度約二千万円の売り上げを見込む。サルのES細胞作りは京大や田辺製薬などが二〇〇〇年に国内で初めて成功。作製が極めて難しく、京大に分配を要請する研究機関は多い。受精卵の一部を取りだして作るES細胞は体外で培養すると心筋や神経、骨、血管などあらゆる組織に成長する可能性がある。機能を失った臓器や組織を修復する再生医療の材料として注目されている。



奈良先端科学技術大学院大学の木戸出正継教授らはノートや本などの上で指先を動かすだけでコンピュータに文字や図形の入力ができる装置を開発した。指の動きを赤外線カメラがとらえ、文字などを認識する。ウェアラブル(装着型)コンピュータの入力装置として実用化を進める。

ノート上で指動かし入力

奈良先端大が実用化へ 赤外線カメラで 文字などを認識

た。文字認識ソフトと組み合わせれば文字入力ができる。書いた内容はGoogleのようなヘッドマウントディスプレイ(HMD)に映し出して確認する。写真。赤外線ランプの出力などの問題で室内でしか使えないが、装置の改良を進め年内にも屋外で利用できる装置を開発する。情報機器メーカーと協力して装置を小型化する。



おいしい野菜の習慣です。150g グリコ 10種の野菜とアロエのヨーグルト

がん治療 フラウレン活用 投与後、体外から超音波

京大教授ら

を確認した。

炭素原子がサッカーボール状に連なったC60に水になじみやすい高分子を結合して投与した後、患部に超音波を当てる。

研究グループはC60が微弱な光と反応して有害な活

オリゴ糖でアトピー改善 ファンケルなど確認

ファンケルと日本甜菜製糖、千葉クリニック(東京・江東、千葉伸幸院長)の患者の飲用試験で、皮膚の

利用する。肝臓がんを持つたマウスの実験では六匹のうち四匹でがんが完全に消えたという。今後、超音波の周波数など

どの照射条件などを詳細に検討したうえで、人間の治療への応用を探る。高分子を付けたC60はがん組織内にたまりやすい性質

成果は二十八日に福岡市で開く国際音響化学療法シンポジウムで発表する。

京都大学の田畑泰彦教授らはナノテクノロジー(超微細技術)の代表的な材料である「フラウレン」と超音波を組み合わせたがん治療技術を開発した。フラウ



弱な光と反応して有害な活

ファンケルと日本甜菜製糖、千葉クリニック(東京・江東、千葉伸幸院長)の患者の飲用試験で、皮膚の

六歳の患者三十一人がメリビオース粉末三gを一日二回、三カ月間内服。七割以

て

技術開発 セント・テクノ

日経B
〇〇二年
経BP技
大賞は高
式会社冷
グループ
蔵庫のノ
した冷媒
小杉高生
機器社キ
オン部冷
の「冷蔵
を実現し
術」の二
件の部門
式は四月
門のホテ
ろ。部門
・団体は
▼電子
で高密度
る技術「
世代シス
電子ビー
EPL」
か)
▼情報
・ソース
るPos